

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 5 部門第 2 区分
【発行日】令和 5 年 3 月 15 日(2023.3.15)

【公開番号】特開 2021-162114(P2021-162114A)
【公開日】令和 3 年 10 月 11 日(2021.10.11)
【年通号数】公開・登録公報 2021-049
【出願番号】特願 2020-65998(P2020-65998)
【国際特許分類】

F 1 6 D 13/52(2006.01)

10

F 1 6 D 13/60(2006.01)

【F I】

F 1 6 D 13/52 Z

F 1 6 D 13/60 T

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 3 月 7 日(2023.3.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0074

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0074】

PPs・カム面 18b は、プレッシャプレート 14 のカム用孔 41c に形成されている。具体的には、カム用孔 41c において、PPa・カム面 17b が形成された側面（壁面）と周方向において対向する逆側の端面（壁面）が、PPs・カム面 18b となっている。ただし、PPa・カム面 17b と PPs・カム面 18b とは軸方向にずれて形成されている。CC・カム面 18a は、周方向を向くとともに、軸方向の第 1 側を向くように傾斜している。PPs・カム面 18b は、周方向を向くとともに、軸方向の第 2 側を向くように傾斜している。そして、この PPs・カム面 18b に、CC・カム面 18a が当接可能である。

30

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0095

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0095】

具体的には、プッシュタイプのクラッチ装置 110 では、軸方向の第 2 側から第 1 側に向けて、プレッシャプレート 114、クラッチセンタ 113、及びサポートプレート 116 が配置されている。プレッシャプレート 114 とサポートプレート 116 とは、クラッチセンタ 113 に形成された開口 113a を通して、ボルト 163 により互いに固定されている。そして、クラッチセンタ 113 とサポートプレート 116 との間に、コイルスプリング 119 が配置されている。また、プレッシャプレート 114 の押圧部 142 と、クラッチセンタ 113 の受圧部 128 と、の間に、クラッチプレート 111 が配置されている。これらの各部材は、プルタイプのクラッチ装置 10 と同様に、クラッチアウター 112 の内部に収容されている。

40

【手続補正 3】

【補正対象書類名】図面

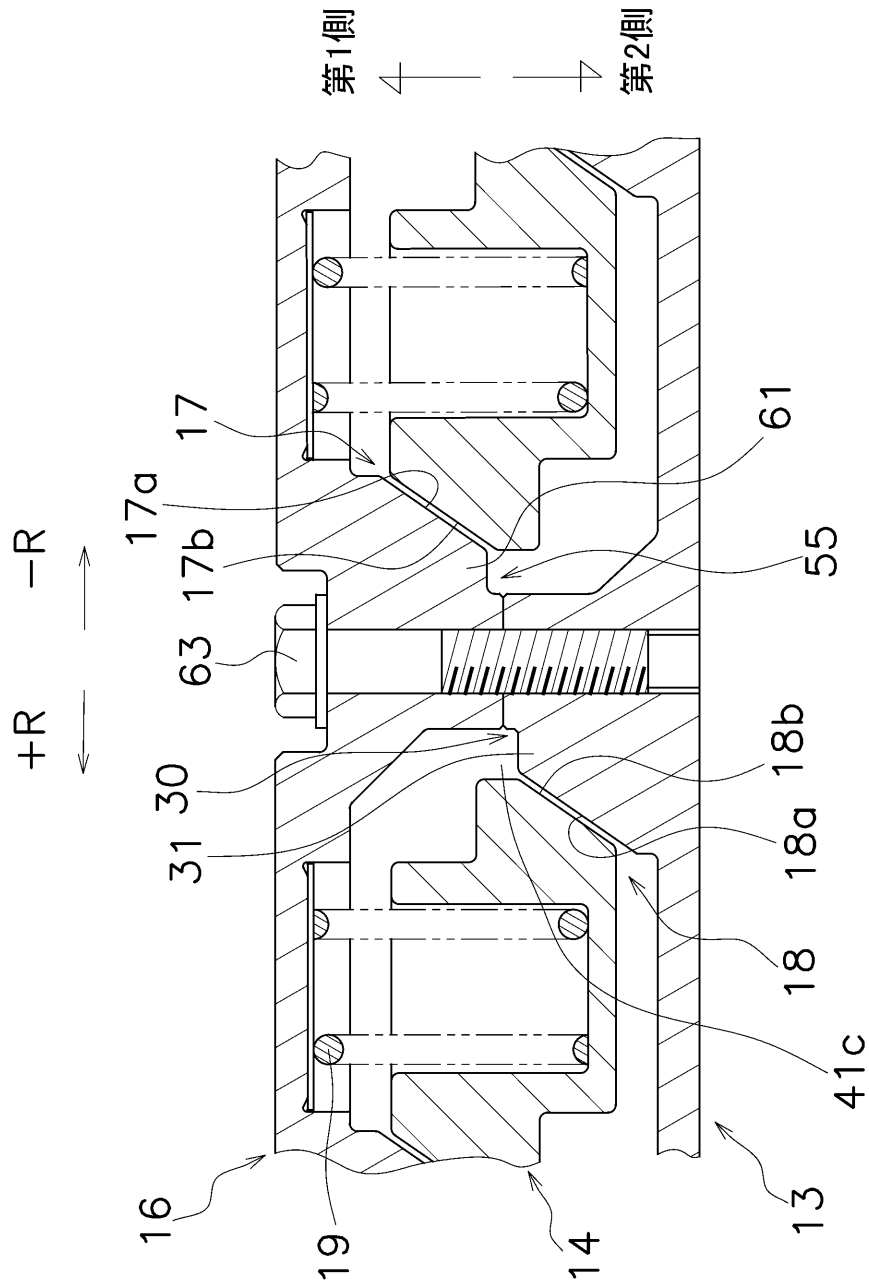
【補正対象項目名】図 9

【補正方法】変更

50

【補正の内容】

【図9】



10

20

30

40

50